

浦添市テニス協会

1 設立年月日

昭和58年（1983年）4月1日

県民体育大会選手選考会

9月 テニスの日

（全国統一行動）

2 設立の経緯

昭和55年（1980年）の県民体育大会からテニス競技が正式に競技種目へ加えられた。それを機に、県民体育大会出場のための選手選考に集まった有志を中心として、テニス人口の拡大やテニス競技を通して市民交流を深める事等を目的として協会が設立された。

10月 市民テニス教室開始

11月 復帰30周年記念かりゆし県民

フェスティバルスポーツ交流大会

第54回 県民体育大会

※年間を通して、ジュニアの育成強化と市民テニス教室を行なう。

3 歴代役員、現役員

(1) 会長

照屋 真（昭和58～平成13年）

大城 久仁男（平成14年～現在）

(2) 副会長

仲栄真 清一（平成14年～現在）

城間 久子（平成14年～現在）

(3) 理事長

新門 貞雄（昭和58～平成13年）

松田 美代子（平成14年～現在）

(4) 副理事長

中村 淳（平成14年～現在）

(5) 事務局長

仲里 力（平成14年～現在）

(6) 常任理事（現在）

城間 巳紀男 宮里 和美

大宜見 肇 棚原 義雄

安里 光弘 金城 京美

工藤 章江 比嘉 恵子

福地 治明 伊良部 政務

5 現在の競技人口、加盟団体等

(1) 競技人口

①一般

正確な数字は把握していないが、県テニス協会主催の大会への参加状況をみるとかなりのテニス人口が存在する事が窺える。

②高体連・約180名

那覇工業高校 昭和薬科大付属高校

陽明高校 浦添高校 浦添商業高校

浦添工業高校

③中体連・約240名

浦添中学校 仲西中学校 浦西中学校

神森中学校 昭和薬科大付属中学校

港川中学校

(2) 加盟団体

今後、加盟を呼びかける予定。

4 年間の事業

4月 総会

6月 スポーツ少年団活動開始

浦添市ベテラン親睦テニス大会

8月 浦添市内中学校交流試合



県民大会代表選手（平成12年）

6 大会での主な成績（県民体育大会）

- (1) 第33回（昭和55年）…………… 2位
- (2) 第34回（昭和56年）…………… 5位
- (3) 第35回（昭和57年）…………… 2位
- (4) 第36回（昭和58年）…………… 3位
- (5) 第37回（昭和59年）…………… 優勝
- (6) 第38回（昭和60年）…………… 2位
- (7) 第39回（昭和61年）…………… 2位
- (8) 第40回（昭和63年）…………… 優勝
- (9) 第41回（平成元年）…………… 2位
- (10) 第42回（平成2年）…………… 5位
- (11) 第43回（平成3年）…………… 2位
- (12) 第44回（平成4年）…………… 2位
- (13) 第45回（平成5年）…………… 3位
- (14) 第46回（平成6年）…………… 優勝
- (15) 第47回（平成7年）…………… 5位
- (16) 第48回（平成8年）…………… 3位
- (17) 第49回（平成9年）…………… 2位
- (18) 第50回（平成10年）…………… 3位
- (19) 第51回（平成11年）…………… 2位
- (20) 第52回（平成12年）…………… 5位
- (21) 第53回（平成13年）…………… 2位
- (22) 第54回（平成14年）…………… 2位



県民大会代表選手（平成13年）

7 復帰30周年記念

かりゆし県民フェスティバル

平成14年（2002年）11月9日～10日にかけて催された「復帰30周年記念かりゆし県民フェスティバル」において、スポーツ交流大会と銘打

ち親睦・交流を目的とした大会を開催した。

男性は60歳以上、女性は50歳以上の方々を参加対象として行なったが、年齢を感じさせないハツラツとしたプレーの連続で、大いに盛り上がった。

8 ジュニア選手の育成について

浦添市は特にジュニアのテニスが盛んであり、市内の6中学校・6高校で、約400名余りのジュニアがテニスに取り組んでいる。

県内はもとより県外でもトップクラスの選手が育つなどの勢いがあり、その勢いを更に盛り上げるため、ジュニアテニスのみならず、小学校低学年のキッズテニスの指導にも力を入れている。

井上青香、井上摩衣子姉妹（沢岷出身、浦添高卒）が現在、日本を代表するプロとして活躍しております。

今後もテニスと言うスポーツを通して、明るく健全な子供達の育成に貢献して行きたいと考えている。

9 今後の課題と展望

多くの市民が年齢に関係なく、テニスに親しみ楽しんでもらう事により、浦添市におけるテニス人口の底辺拡大や活性化が成せるものだと考えている。そのための環境（テニス関連の公共施設等）作りを最大の目標として活動を行なって行きたい。

又、県民体育大会での優勝を勝ち取る事も大きな目標であり、底辺の拡大だけではなく、頂点の精鋭化にも努力して行きたい。

この二つの課題を成し遂げるためにも、浦添市内において気軽に利用できるテニス関連施設の、早急なる設置が必須条件であると考えている。



県民体育大会代表選手（平成14年）

浦添市テニス協会

第1章 総則

（名称）

第1条 本会は浦添市テニス協会と称する。

（事務所）

第2条 本会は事務所を浦添市内に置く。

（目的）

第3条 本会はテニス競技の振興発展と技術力の向上を図るとともに、体力の増強とスポーツ精神の涵養と地域住民の親睦をはかることを目的とする。

（上部団体）

第4条 本会は沖縄県テニス協会、浦添市体育協会の傘下団体である。

（事業）

第5条 本会は、前条の目的を達成する為に次の事業を行う。

- (1) 市内テニス大会の開催
- (2) テニス競技の向上・普及・強化に関すること。
- (3) その他本会の発展向上に関すること。

第2章 会員

（会員）

第6条 本会の会員の種類は次の2種類とする。

- (1) 浦添市住民（本籍を含む）の一般テニス愛好者
- (2) 高校、中学校、小学校のテニス部及び個人

第3章 役員

（役員）

第7条 本会は次の役員を置く。

- (1) 理事若干名とし、次の役職を置く。
 - (2) 会長1名、副会長若干名、理事長1名、副理事長若干名、常任理事若干名、事務局長1名、監事1名、顧問若干名
- 2 役員の内任期は、2年を基本とし再選を妨げない。

第4章 理事会・常任理事会

(理事会)

第8条

- (1) 理事会は会長、副会長及び理事を持って組織する。
- (2) 理事会は理事長が召集しその議長となる。
- (3) 理事会の議決は出席者の過半数をもって決定し、不可同数の場合は議長が決定する。

(常任理事会)

第9条

- (1) 常任理事会は会長、副会長、理事長、副理事長、事務局長及び常任理事をもって構成する。
- (2) 常任理事会は理事長が召集し、その議長となる。

第5章 委員会

(委員会)

第10条 本会に次の委員会を置く。

- (1) 総務委員会
- (2) ジュニア委員会
- (3) ベテラン委員会
- (3) 競技委員会

第6章 会計

(会計年度)

第11条 本会の会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(収入金)

第12条 本会の収入は次にかかる収入をもって充てる。

第7章 会費・事業収入・寄付金・補助金・その他

(会則の変更)

第13条 本会則の変更は総会の議決によらなければならない。

第8章 総会

(総会の開催)

第14条 定期総会は年1回とし、会計年度終了後開催する。但し、会長が必要と認めるとき、又は、理事の1/2以上から要請があるときは臨時総会を開催する。

沖縄県民体育大会における浦添市選手団の成績

テニス競技

昭和55年競技開始

回	年	元号	混成	回	年	元号	混成
32	1979	昭和54	雨のため中止	44	1992	平成4	8
33	1980	昭和55	6	45	1993	平成5	7
34	1981	昭和56	3	46	1994	平成6	10
35	1982	昭和57	6	47	1995	平成7	5
36	1983	昭和58	7	48	1996	平成8	7
37	1984	昭和59	10	49	1997	平成9	8
38	1985	昭和60	8	50	1998	平成10	7
39	1986	昭和61	7	51	1999	平成11	8
40	1988	昭和63	10	52	2000	平成12	5
41	1989	平成元	8	53	2001	平成13	8
42	1990	平成2	5	54	2002	平成14	8
43	1991	平成3	8				

